



2024年11月8日

各 位

会 社 名 システム・ロケーション株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 千村 岳彦  
 (コード番号 2480 東証スタンダード)  
 問合せ先 取締役 管理部門管掌 井坂 俊達  
 (TEL03-6452-2864)

## (訂正・数値データ訂正)

## 2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)の一部訂正について

2024年11月1日発表の「2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)」に一部誤りがありましたので、下記のとおり訂正いたします。また数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。

なお、訂正箇所には\_を付しております。

## 1. 訂正の理由

2024年11月1日発表の「2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容について一部誤りがあることが判明したため、訂正するものであります。

## 2. 訂正の内容

<サマリー情報>

## 1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2022年4月1日~2023年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

## 【訂正前】

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	844	△1.4	271	△7.6	323	1.0	190	3.4
2024年3月期中間期	856	2.3	293	7.8	320	7.0	183	2.4

## 【訂正後】

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	844	△1.4	273	△6.7	325	1.8	190	3.4
2024年3月期中間期	856	2.3	293	7.8	320	7.0	183	2.4

## 添付資料 4 ページ

### 1. 当中間決算に関する定性的情報

#### (1) 経営成績に関する説明 4 段落目

##### 【訂正前】

この結果、当中間連結会計期間における当社グループの売上高は、844,743 千円(前年同期比 1.4%減)となりました。引き続きリカーリングの性質による売上が大半であり、ストック型売上として、フロー型ビジネスと比較し安定的に推移するものです。営業利益は、売上減及び一時的な費用負担の影響もあり、271,191 千円(前年同期比 7.6%減)となりました。経常利益は一時的な保険金収入があり 323,401 千円(前年同期比 1.0%増)となり、親会社株主に帰属する中間純利益は、第1四半期に出資した AI ドライブアシスタント開発スタートアップ企業 (Pyrene Inc.) の株式評価減及び税効果会計の影響により、190,120 千円(前年同期比 3.4%増)となりました。

##### 【訂正後】

この結果、当中間連結会計期間における当社グループの売上高は、844,743 千円(前年同期比 1.4%減)となりました。引き続きリカーリングの性質による売上が大半であり、ストック型売上として、フロー型ビジネスと比較し安定的に推移するものです。営業利益は、売上減及び一時的な費用負担の影響もあり、273,741 千円(前年同期比 6.7%減)となりました。経常利益は一時的な保険金収入があり 325,951 千円(前年同期比 1.8%増)となり、親会社株主に帰属する中間純利益は、第1四半期に出資した AI ドライブアシスタント開発スタートアップ企業 (Pyrene Inc.) の株式評価減及び税効果会計の影響により、190,120 千円(前年同期比 3.4%増)となりました。

#### (2) 財政状態に関する説明

##### (キャッシュ・フローの状況) 3 段落目

##### 【訂正前】

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は 241,725 千円の収入(前年同期比 12.0%減) となりました。

主なプラス要因は、税金等調整前中間純利益の計上 253,013 千円、顧客関連資産償却額の計上 25,000 千円、のれん償却額の計上 10,551 千円及び減価償却費の計上 66,198 千円であります。主なマイナス要因は、法人税等の支払 106,483 千円であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は 71,478 千円の支出(前年同期比 0.6%増) となりました。

主なマイナス要因は、投資有価証券の取得による支出 85,000 千円 であります。

##### 【訂正後】

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は 244,275 千円の収入(前年同期比 11.1%減) となりました。

主なプラス要因は、税金等調整前中間純利益の計上 253,013 千円、顧客関連資産償却額の計上 25,000 千円、のれん償却額の計上 10,551 千円及び減価償却費の計上 66,198 千円であります。主なマイナス要因は、法人税等の支払 106,483 千円であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は 74,028 千円の支出(前年同期比 0.7%増) となりました。

主なマイナス要因は、投資有価証券の取得による支出 87,550 千円 であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

【訂正前】

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	856,782	844,743
売上原価	173,440	194,143
売上総利益	683,342	650,599
販売費及び一般管理費	389,796	379,407
営業利益	293,545	271,191
営業外収益		
受取利息	518	1,128
受取配当金	23,724	24,058
為替差益	6,250	905
持分法による投資利益	—	526
受取保険金	—	24,822
その他	3,258	2,866
営業外収益合計	33,752	54,307
営業外費用		
保険解約損	—	2,097
持分法による投資損失	7,102	—
営業外費用合計	7,102	2,097
経常利益	320,195	323,401
特別損失		
固定資産除却損	—	0
投資有価証券評価損	—	70,388
関係会社株式評価損	122	—
減損損失	21,347	—
特別損失合計	21,470	70,388
税金等調整前中間純利益	298,725	253,013
法人税、住民税及び事業税	137,928	100,282
法人税等調整額	△22,142	△36,126
法人税等合計	115,785	64,155
中間純利益	182,939	188,857
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△879	△1,262
親会社株主に帰属する中間純利益	183,819	190,120

## 【訂正後】

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	856,782	844,743
売上原価	173,440	194,143
売上総利益	683,342	650,599
販売費及び一般管理費	389,796	376,857
営業利益	293,545	273,741
営業外収益		
受取利息	518	1,128
受取配当金	23,724	24,058
為替差益	6,250	905
持分法による投資利益	—	526
受取保険金	—	24,822
その他	3,258	2,866
営業外収益合計	33,752	54,307
営業外費用		
保険解約損	—	2,097
持分法による投資損失	7,102	—
営業外費用合計	7,102	2,097
経常利益	320,195	325,951
特別損失		
固定資産除却損	—	0
投資有価証券評価損	—	72,938
関係会社株式評価損	122	—
減損損失	21,347	—
特別損失合計	21,470	72,938
税金等調整前中間純利益	298,725	253,013
法人税、住民税及び事業税	137,928	100,282
法人税等調整額	△22,142	△36,126
法人税等合計	115,785	64,155
中間純利益	182,939	188,857
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△879	△1,262
親会社株主に帰属する中間純利益	183,819	190,120

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書  
【訂正前】

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	298,725	253,013
減価償却費	46,652	66,198
減損損失	21,347	—
のれん償却額	10,551	10,551
顧客関連資産償却額	25,000	25,000
引当金の増減額 (△は減少)	32,334	△61,166
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△13,714	2,856
受取利息及び受取配当金	△24,242	△25,186
持分法による投資損益 (△は益)	7,102	△526
売上債権の増減額 (△は増加)	6,684	7,950
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,598	△3,706
投資有価証券評価損	—	70,388
関係会社株式評価損	122	—
受取保険金	—	△24,822
その他	△2,842	△22,349
小計	406,122	298,200
利息及び配当金の受取額	24,242	25,186
保険金の受取額	—	24,822
法人税等の支払額	△155,682	△106,483
営業活動によるキャッシュ・フロー	274,682	241,725
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△69,376	△5,855
無形固定資産の取得による支出	△32,717	△19,522
投資有価証券の取得による支出	—	△85,000
保険積立金の積立による支出	△3,624	△2,611
保険積立金の解約による収入	39,888	41,511
その他	△5,200	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△71,029	△71,478
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△133,077	△133,984
財務活動によるキャッシュ・フロー	△133,077	△133,984
現金及び現金同等物に係る換算差額	△186	355
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	70,388	36,618
現金及び現金同等物の期首残高	1,659,832	1,976,961
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,730,221	2,013,579

## 【訂正後】

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	298,725	253,013
減価償却費	46,652	66,198
減損損失	21,347	—
のれん償却額	10,551	10,551
顧客関連資産償却額	25,000	25,000
引当金の増減額 (△は減少)	32,334	△61,166
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△13,714	2,856
受取利息及び受取配当金	△24,242	△25,186
持分法による投資損益 (△は益)	7,102	△526
売上債権の増減額 (△は増加)	6,684	7,950
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,598	△3,706
投資有価証券評価損	—	72,938
関係会社株式評価損	122	—
受取保険金	—	△24,822
その他	△2,842	△22,349
小計	406,122	300,750
利息及び配当金の受取額	24,242	25,186
保険金の受取額	—	24,822
法人税等の支払額	△155,682	△106,483
営業活動によるキャッシュ・フロー	274,682	244,275
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△69,376	△5,855
無形固定資産の取得による支出	△32,717	△19,522
投資有価証券の取得による支出	—	△87,550
保険積立金の積立による支出	△3,624	△2,611
保険積立金の解約による収入	39,888	41,511
その他	△5,200	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△71,029	△74,028
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△133,077	△133,984
財務活動によるキャッシュ・フロー	△133,077	△133,984
現金及び現金同等物に係る換算差額	△186	355
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	70,388	36,618
現金及び現金同等物の期首残高	1,659,832	1,976,961
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,730,221	2,013,579

以上